



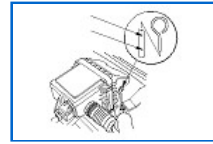
エンジン オイルの点検、交換

重要 点検はエンジン始動前か、エンジンを止めてから少なくとも3分以上たってから行うこと。

点検

- エンジンを停止させた状態で水平の場所で行う。
- レベルゲージを抜いて、汚れの点検およびオイル量が上限(A)から下限(B)の間にあることを点検する。

重要



アドバイス

銘柄やグレードの違うオイルを混用したり、低品質のオイルを使用しないこと。変質してエンジン故障の原因になることがある。

交換

重要 オイル交換後の廃油は、法令、条例などで定められた方法により処理すること。

- ラジエーターファンが2回作動するまで、エンジンを暖機する。暖機後エンジンを停止する。
- ドレンボルト(A)をゆるめ、エンジンオイルを抜く。

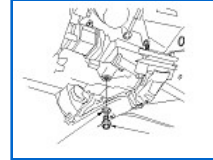
注意

エンジンが熱いうちにドレンボルトをゆるめると、油温が高く火傷しやすいので注意する。

- 新しいワッシャ(B)を使用して、ドレンボルトを締付ける。

アドバイス

ドレンボルトの締め過ぎに注意する。

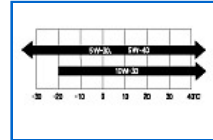


- 推奨オイルを入れる。

アドバイス

アースケーブルにオイルを付着させない。付着した場合は速やかにふき取る。

推奨交換時期	*1:10,000kmまたは1年ごとのどちらか早い方 *2:5,000kmまたは6ヶ月ごとのどちらか早い方
推奨オイル	ウルトラLTD SL (API SL/GF-3級 SAE 5W-30) ウルトラGOLD SL (API SL級 SAE 5W-40) ウルトラMILD SL (API SL/GF-3級 SAE 10W-30) またはAPI SJ級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATIONマークの入ったエンジンオイル



*1:E07Z型SOHCエンジン

*2:E07Z型SOHCターボエンジン

- 次の条件(シビアコンディション)ではオイルの劣化が早まるので、5,000kmまたは6ヶ月ごとのどちらか早い方で交換する(E07Z型SOHCエンジン)。
 - 悪路(デコボコ道、砂利道、未舗装路)での頻繁な走行
 - 走行距離が多い(目安:20,000km以上/年)
 - 坂道登降坂での頻繁な走行(目安:登り下りが多く、ブレーキ使用回数が多い)
 - 短距離走行の繰り返し(目安:8km以下/回)
 - 外気温が氷点下での繰り返し走行
 - 低速走行が多い(目安:30km/h以下)
 - アイドリング状態での頻繁な使用

規定量 [(liter)]	分解組立時	3.1
	オイルのみ交換時	2.6
	オイル、フィルタ同時交換時	2.8

- 気温に応じたエンジンオイルを下表にもとづき次回のオイル交換までを考慮して使用する。

- エンジンオイルを注入後、エンジンを3分以上運転し、オイル漏れがないことを点検する。